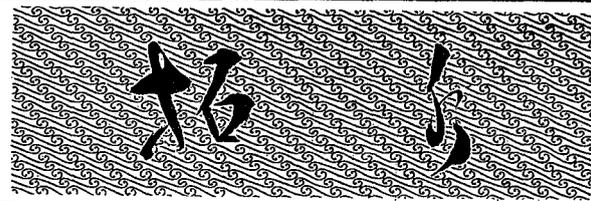


合成洗剤を追放しよう!!

生命のふるさと
海を守るために



5月号 No.320 一部 10円

(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区中之島2-20-21
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

表1 種苗生産計画

主な種類	総数	水産試験場	栽培	日漁	栽培	増産
	千尾	千尾	千尾	千尾	千尾	千尾
クルマエビ	22,000	12,000				10,000
カザミ	400	400				
マダイ	900		900			
ヒラメ	100		100			
マコガレイ	100		100			
クロアワビ	50	※ 50				

※但馬水産事務所生産

表2 沿岸漁場整備開発事業

事業名	内容	予定場所等
並型魚礁設置	小規模な魚礁漁場の造成	神戸、明石、家島、赤穂、洲本、淡路、北淡、一宮、南淡、豊岡、竹野、香住、浜坂
大型魚礁設置	中規模な魚礁漁場の造成	浜坂、西淡
人工漁場造成	大規模な魚礁漁場の造成	但馬地区(54年度より継続)、但馬東部地区(57年度より継続)、南淡路地区(56年度より継続)
大規模増殖場開発	大規模な増殖場造成	明石・淡路地区(産の類)(58年度より実施)、東淡路地区(由良)(58年度より実施)
大規模増殖場開発調査	事業の事前調査	神戸・淡路地区(調査2ヶ年・60年度より事業)

水産課予算

一般会計で一億八億六〇〇〇万円
特別会計で八億二、一〇〇〇万円

昭和五十八年度当初の県水産課予算は一般会計(人件費を除く)で一億八六〇〇万円、特別会計で八億二、一〇〇万円となりました。
主なものは、(一)そだてる漁業の充実、(二)新しい漁場の整備、(三)漁業経営の安定化、(四)技術開発と普及となっています。

そだてる漁業を充実する
二二三、二一七千円
魚をふやすため、(表二)のように種苗生産(種つくり)を行い、市・町・漁協の協力を得て、中間育成の後、沿岸適地へ放流します。
せいかく種苗を放流しても小さなときに漁獲されるのはその効果を十分にあげることができません

新しい漁場を準備する
沿岸漁場の整備開発
六九二、九四九千円
魚を育てるため、コン

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。
また、(表二)のほか、栽培漁業センターでは、(表二)めばる等の魚産技術開発の研究も行います。

クリートブロックなどを沈め人工的な漁場造成(畑つくり)を行います。
(別表二のとおり)
漁場環境の保全等
二二八、一五二千円
従来どおり、赤穂の情報交換・調査、貝類毒化点検査、PCB定期点検調査、塩素化合物汚染点検査を行うほか昨年(五十七年度)に漁場に堆積する廃棄物を除去する漁場クリーンアップ事業を七市町で行います。

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業経営の安定化をすすめる
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

漁業近代化資金等
八五二、六九六千円
漁業近代化資金等
三〇二、〇四一十千円
(別表三のとおり)
漁業用燃料油対策
特別資金利子補給
二〇九、一八七千円
漁業用燃料油の高騰等に対処するため漁業者に対し燃料等の購入に係る低利の資金を融資する金融機関に対し利子補給融資目標額
六、四五五億円
六、〇〇〇万円
利子補給率 六、〇%

表3 漁業近代化資金等利子補給

区分	融資枠	基盤金利				利子補助率				貸付利率	貸付期間	貸付の限度
		国	県	計	貸付利率	償還	償還					
漁業近代化資金	20トン未満個人施設	1,900,000	9.0	1.5	2.0	3.5	5.5	2年以内	5~12年以内	1. 事業費の80%以内		
	20トン以上個人施設	800,000	9.0	1.0	1.0	2.0	7.0	2年以内	5~12年以内	2. 資金種類により600万円~3億円		
振興資金	小計	3,300,000	8.0	0.5	0.5	1.0	7.0	3年以内	10~20年以内			
	単体	100,000	8.5	-	2.5	2.5	6.0	-	1年以内	1. 事業費の80%以内		
振興資金	単体	100,000	8.5	-	2.5	2.5	6.0	-	-	2. 資金種類により100万円~1,000万円		
	小計	350,000	8.5	-	2.5	2.5	6.0	-	-			
合計		3,650,000	-	-	-	-	-	-	-			

表4 沿岸漁業改善資金貸付事業

資金名	資金の内容	貸付期間		貸付限度
		据置	償還	
経営改善資金	操船、漁ろう作業省力化	1年以内	7年以内	2,200~2,400千円
	機器等の駆動	1年以内	7年以内	4,000
	低燃費機関導入	1年以内	7年以内	4,000
	新養殖技術の導入	1年以内	4年以内	4,000
	生命の安全、漁船事故の防止、漁具損壊防止等	1年以内	2~5年以内	100~1,300
生活改善資金	生活の合理化	-	2~3年以内	80~300
	住居利用方式改善	-	5年以内	800
	高齢者の活動	-	3年以内	800
後継者資金	後継者の研修	1年以内	5年以内	500
	後継者の経営開始	2年以内	7年以内	3,200

第七次漁港整備
長期計画の第二次年
漁港課

業務前年比は県管理漁港で九七・二%、市町管理漁港で一一・〇%と減少しています。
二、漁業近代化施設の整備
(一億九千八百万円)
昭和五十四年度から各地域で実施されている新沿岸漁業構造改善事業の五十八年度の実施地域及び施設は上表のとおりです。また事業費の総額は三億二千九百万円となっています。
なお、今年度新たな指定候補地域として香住町、御津町の二地域をあげ、目下水産庁と協議中です。

漁港の整備計画 (単位 千円)

区分	57年度	58年度	前年比	
漁港	修築	3,000,000	2,930,000	97.7
	改修	1,034,000	1,240,000	120.0
	局部改良	233,000	206,000	88.4
	計	4,267,000	4,376,000	102.6
漁港沿岸	保全施設	394,000	398,000	101.0
	環境整備	51,000	48,000	94.1
	計	445,000	446,000	100.2
合計	4,712,000	4,822,000	102.3	

貸付利率 三・〇%
沿岸漁業改善資金
貸付事業
(融資枠)
一九〇、〇〇〇千円
(別表四のとおり)
編するため、全漁港が事業主体となつて行う漁船の縮減事業の地元負担分の補助を行います。
従来どおり、水産試験場、但馬水産事務所、試験研究室で漁海況、漁業資源、魚病等の研究を行うほか、本年度から海域に於ける「品種」を選抜育種する、養殖の品種改良試験を行います。
従来どおり改良普及および漁業後継者特別対策事業を実施します。

水産ノート 23

ノリ養殖の経過と問題点

生産者の皆さんは、本年度の変動の大きかった漁期を振り返り、また、次年度への決意と期待をこめて、最後の漁場整理に取組まれておられることと致し。この参考となればと願ひ、これまでの養殖経過の概要を整理し、どこに問題点があったのかを考えてみたいと思ひます。

採・育苗状況 図2のとおり本年度の採・育苗期の環境の特徴は、いわゆる冷夏の影響(図1)で水温は11月上旬まで低く経過したが、降下は平年に比べ非常に鈍かった点である。

各地とも採苗は10月5日前後から予定どおり実施され、以後の育苗も進んだ網は、葉体の赤変や脱落が認められるなどの

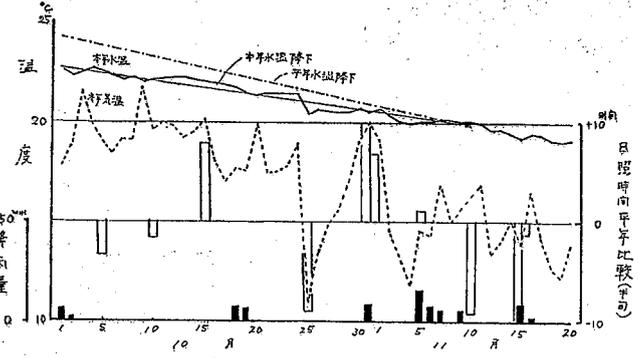


図2 57年度育苗期における、気温、水温、降雨量、日照時間の日変化(明石、9時)

ログサレ症状を呈した。なお、漁場調査では沖合の海水交換の良い場所では、陸側に比較して症状が軽く、まん延も遅い状況が多かった。これ以外に、芽付の遅い網や、重ね育苗網数の多い網ほど症状の進行が早いなどの傾向も認められた。

この原因については検討中であるが、背景となった環境変動を(図2、3(3面中段))でみると、前後で日照時間が非常に多くなっています。これが葉体を徒長させ、網周辺の微環境の悪化を招き、葉体を弱体化させる引き金になったのではないかと推察されます。

以上の対策として、まず、芽付や育苗中の観察を一層細かくし、適正な管理対応をすることです。また、育苗網の早期展開、健苗育成のための早期入庫を徹底させる必要があります。

養殖前期生産は、西播地区では比較的頭潤な生産が続いたが、東播から淡路地区にかけ、再びログサレや、すみのり現象による品質の低下、伸びやみなどがみられた。これは、育苗状況で述べた地潤の不具合が大きな原因となったと考え、2月以降の後期生産に

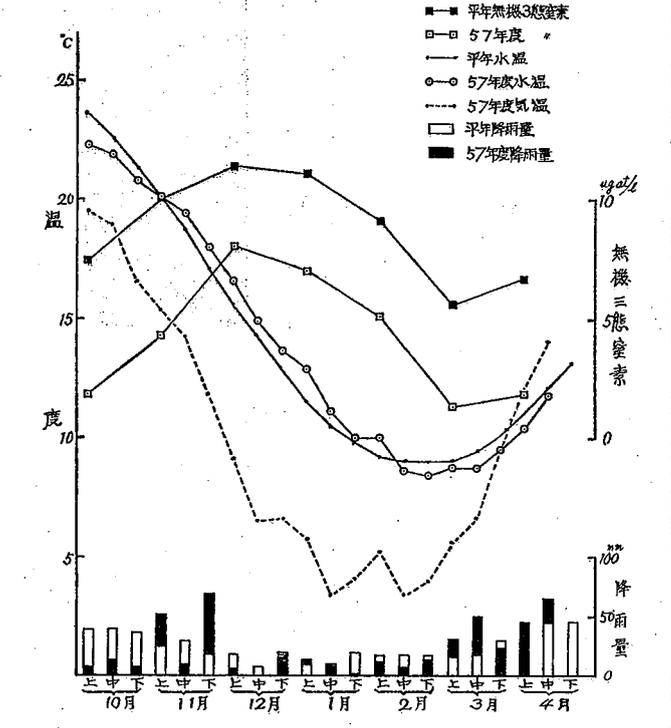


図4 昭和57年度気象海況変動

海況 播種期 4月1日から4月2日にかけて実施した調査結果によると、表層水温は9.3℃と10.1℃の範囲にあり、平年に比べ0.5℃程度低目であった。水深10m層の水温も9.3℃と10.0℃の範囲にあり、表層との水温差はほとんど認められない。塩分は32‰前後で、ほぼ平年並みの値となっている。透明度は平均8.9mと、播種期としては良好な値を示した。

紀伊水道 4月13日と4月14日に実施した調査結果から、10m層の水温分布を(図5)と示す。大阪湾は11℃台で平年に比べ1℃程度低目となっている。これに対し、紀伊水道東部では15℃と16℃を示し、大阪湾とは逆に、平年値を1.5℃程

漁況 播種後海城4漁場、大阪湾海城1漁場及び紀伊水道海城5漁場の調査結果の概要は次のとおり。

イカナゴ 瀬戸内海漁獲量の60%を占めるイカナゴ漁は、前年同期(1月4月)の40%と大幅に下回り、傾斜となる4月下旬以降の漁獲量についても余り期待はしていないようである。

マダイ 紀伊水道海域での、小型底びき網、鳴門海峡域の撒網及び一本釣りの漁獲は前年4月に比べ不振であった。

サヨリ 紀伊水道の船びき網では、前月に引き続き、安定した漁獲がみられた。

マシラス 大阪湾南海域に4月下旬に来遊がみられ、わずかながら漁獲されたとの情報があったが今後に期待したい。(3面へ)

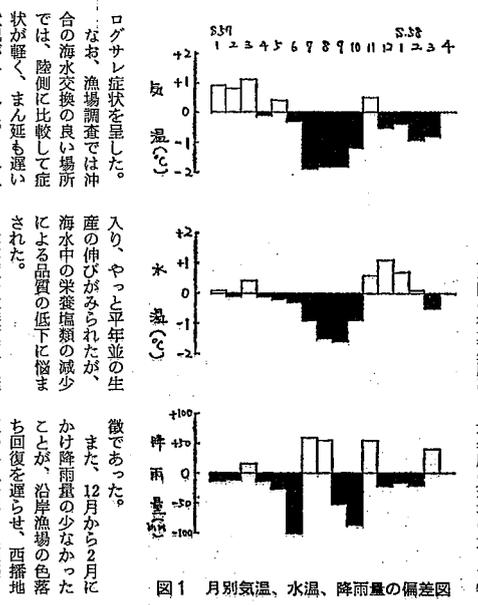


図1 月別気温、水温、降雨量の偏差図

区では比較的頭潤な生産が続いたが、東播から淡路地区にかけ、再びログサレや、すみのり現象による品質の低下、伸びやみなどがみられた。これは、育苗状況で述べた地潤の不具合が大きな原因となったと考え、2月以降の後期生産に

機3態素の変化を(図4)で見ると、ほぼ平年と同レベルを示している。しかし、その濃度は平年に比べ、4・6月(7・8月)も全般に低目となった。また、漁場環境速報でみられるように、短期間の栄養塩の増減が急激だったことも、本年度の環境の大きな特

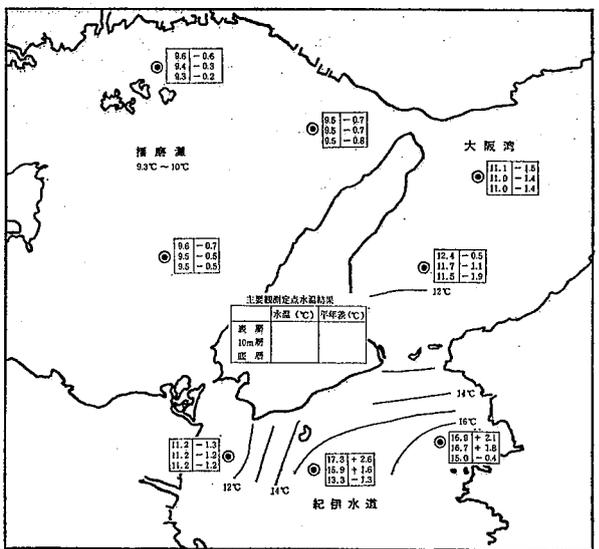
な点であった。また、12月から2月にかけて降雨量の少なかったことが、沿岸漁場の色落ち回復を遅らせ、西播地区の終漁を早めた原因と

問題点 以上の養殖結果から、いかに安定な生産が必要であるかが痛感される。色落ち現象はさけられなかったとしても、漁場行使や養殖管理面で

(養殖増産研究室 山内・長浜)

四月の漁況と海況

兵庫県立水産試験場



10m層水温水平分布図 昭和58年4月1日~2日播種後 昭和58年4月13日~14日大阪湾、紀伊水道

港に花と緑を 南淡漁協で植樹



昨年四月にオープンした東栽培漁業センターもやっと満ちた。ますますの順調な滑り出しで、関係者も安心といったところ。海の水も、一日と暖かくなって、今年もいよいよ本格的な「栽培漁業シーズン」が始まりました。

栽培漁業センターでは、マガイやヒラメの赤ん坊が出世を待っています。とにか、餌のプランクトンをたくさん食べるので、職員は大忙しです。これからアミエビやイナゴなどの普通の餌に慣らしてから、皆さんの中間育成場に届けられる予定です。

水産試験場では、クルマエビとカサギの種苗生産が始まるといいます。水産試験場では、餌を確保したり、機械の調整をしたり、毎年のことながら、ゆとりの中にも張りつめた空気が流れています。

三月にアワビ種苗を生産したばかりの但馬水産事務所は、半年間にわたる飼育のあとの大掃除。今年の秋に産卵する親アワビを、大切に育てながら、次の生産に備えています。

今年も多く皆さんの期待をこなして、種苗が絶えず生産されています。市町を通じて皆さんに配布される種苗は、そのままで、ほかの大きな魚などにやられやすいので、中間育成してから放流しています。でも、この中間育成をもう一度見直して下され。長年やってきた「慣れ」が「胆れ」になってないでしょうか。せっかく中間育成して、また、いくらか大きく育てても、歩留生残率が悪ければ何をしても、のりかきません。

直接放流のほうがましな場合だってあります。大切な種苗を一度でも多く海へ放すために、そして栽培漁業の効果を少しでも高めるために、皆さんの中間育成についてひとつひとつチェック

交換用の網がもう一つ必要なのは、エアーポンプできないのか、底枠を入れた方がいいのか、網目を大きくするのか、網の管理に最善をつくしているかどうか、餌の量と回数とか、守っているか、底で餌残

が腐敗してないか、網目の掃除や網換えをきちんとしてるか、必要以上に長期間飼育してないか、放流場所は適切かどうか、船が近づけないか、放流して深すぎるところへ放流してないか、放流場所の環境が以前と変わっていないか。

さて、今年の受入準備は万全でしょうか。種かしの来、明日の栽培漁業を「まますまます」展させようではありませんか。

(水産課 普及係)

準備はOKですか ——栽培漁業シーズン始まる——



南淡漁業協同組合 (奥野 進組長)

では灘漁港(南淡町灘土庄) 附帯用地とその周辺に漁港美化運動の一環として、4月8日南淡町産業界と協力して、サクラの苗木(二〇本とさだんの苗木五〇本を植樹した。

これによって、暴風最だった港の周辺も一変。植樹は来年も行なわれる予定で、近い日には組合員や連絡船客の目を惹きつけてくれるものと関係者では期待している。

延縄	3	キハカア	スゼゴイ	8	3,000
	5	サナガ	コラゴイ	6	1,000
	3	ココ	サダゴイ	18	2,200
	5	サカマ	サダゴイ	40	1,240
	5	ア	サダゴイ	10	3,000
壺	100	マ	サダゴイ	21	1,930
一本釣	10	サカマ	サダゴイ	4	2,100
	20	ア	サダゴイ	4	2,100
	10	ア	サダゴイ	2	5,000
突棒	10	ア	サダゴイ	5	3,000

紀伊水道 (沼島)

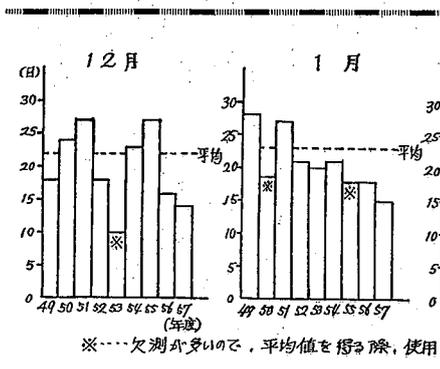
小型底びき網	50	カワツ	エビ	1	3,000
		ワツ	カゴ	1	1,000
		リ	ココ	5~15	400
		ナ	ココ	5~6	1,200
		ダ	ココ	10~20	950
		ハ	ココ	20~50	400
		ア	ココ	10~20	300
		手	ココ	0.5~1.5	4,000
		シ	ココ		3,000
		マ	ココ		2,000
一本釣	50	マ	ココ	2~5	5,300
		ダ	ココ	3,300	3,300
		ア	ココ	2,500	2,500
		キ	ココ	5~15	1,300
		ア	ココ	7	2,300
延縄	3	ナ	ココ	10~20	900
刺	20	サ	ココ	10	1,100
		ア	ココ	5~6	3,000
		ハ	ココ	5~8	1,300
		マ	ココ	2~3	4,000
		ア	ココ	2~3	3,000
		ウ	ココ	2,000	2,000
		マ	ココ	600	600
		ラ	ココ	250	250
		ハ	ココ	100	100
突棒	10	ア	ココ	2~10	3,000
		サ	ココ	5~10	1,100

鳴門海峡・紀伊水道 (福良)

小型底びき網	6	シラ	エビ	1	4,500
		ワズ	エビ	2	2,000
		ク	エビ	2	700
		ク	エビ	2	350
		ア	エビ	4	1,000
		メ	エビ	4	3,000
		メ	エビ	15	2,500
		ア	エビ	1,200	1,200
		メ	エビ	10	2,000~2,300
		メ	エビ	4	1,500
		メ	エビ	5	300
		メ	エビ	5	3,000
撒餌	6	ス	エビ	10	2,070
		セ	エビ	2~3	1,690
		マ	エビ	4,390	4,390
		メ	エビ	3,510	3,510
		メ	エビ	2,740	2,740
		メ	エビ	2,500	2,500
		メ	エビ	1,660	1,660
		メ	エビ	500	500
刺網	2	ア	エビ	30	1,000
		カ	エビ	10	500
		タ	エビ	8	800
		カ	エビ	5	800
		マ	エビ	1~2	1,000
		マ	エビ	1	1,400
籠	14	ア	エビ	120	1,100
船びき網	11	サ	エビ	50~60	1,200~2,000
突棒	10	ウ	エビ	14(枚)	1,000
		ア	エビ	15	2,000
		マ	エビ	1,160	1,160
		赤	エビ	1	700
		サ	エビ	2	700
採貝	4	ア	エビ	50	250~450

大阪湾北西部 (淡路町)

小型底びき網	31	コ	チ	3~4	650
		キ	ス	2~3	2,000
		ア	メ	1~2	2,100
		マ	ゴ	5~6	1,300
		マ	コ	1~2	1,400
		マ	コ	1~2	2,100
船びき網	33	イ	カ	500~750	280~320
一本釣	48	カ	サ	2~3	2,500
		黒	バ	3~4	2,300
		ア	ナ	5~7	2,170~3,190
曳縄	30	ア	ズ	4~5	2,330
		セ	イ	2~3	1,810
延縄	13	ア	ナ	50~60	1,600
		ア	ゴ	60~70	450
		マ	ゴ	6~10	2,400
刺網	5	キ	ス	15~20	2,600
		メ	メ	1~2	2,100
		ア	メ	1~2	2,200
		ス	メ	1~2	2,000
		ア	メ	2~3	4,000
壺	3	マ	ダ	10~15	1,600



友ヶ島水道周辺 (由良漁連)

小型底びき網	5	マ	イ	10	5,000
		マ	ゴ	3	2,200
		マ	カ	4	1,340
		マ	カ	3	1,640
		マ	カ	6	1,540
		マ	カ	2	3,500
刺網			イ	12	2,100
			メ	3	500
			メ	3	2,000
			メ	7	1,500

明石海峡・播磨灘東部 (明石浦)

漁種	隻・統数	主魚種	1隻日平均					
			漁獲量 (Kg)	価格 (円)				
小型底びき網	7	ア イ サ ダ マ	50~30	1,000~3,000				
			20~30	1,300~2,200				
			4~5	1,300				
			4~5	1,300				
一本釣	30	メ ア ハ マ ア オ マ	15	3,000~6,000				
			20	1,200~3,000				
			4~5	1,500~2,300				
			7~5	900~2,000				
			4~8	1,300				
			2~3	2,000~7,000				
			7~8	800~3,000				
			7~8	800~3,000				
一本釣	20~30	ス	ズ	キ	7~8	1,500~2,500		
ひき縄	10	ア	イ	ナ	メ	15~20	4,000~2,200	
		黒	メ	バ	ル	15~20	4,500~3,000	
延縄	10	マ	コ	カ	レ	イ	30~40	3,500~500
文鎮溜	5	イ	シ	カ	レ	イ	10	2,000~1,000
		イ	イ	ダ	ゴ	4~5	1,000	
船びき網	2	イ	カ	ナ	ゴ	1,000~2,000	100	

大阪湾北西部 (明石浦)

小型底びき網	20	メ	イ	カ	レ	メ	15	3,000~6,000
		ア	イ	ナ	メ	カ	20	1,200~3,000
		ハ	リ	ダ	ナ	カ	10	2,500~2,300
		マ	ア	オ	コ	ゴ	7~8	900~2,000
		マ	ア	オ	コ	ゴ	4~5	1,300
		マ	ア	オ	コ	ゴ	4~5	2,000~7,000
		マ	ア	オ	コ	ゴ	7~8	800~3,000

よみがえれ「白砂青松」

高砂海浜公園がオープン



大きく育て、と園児に放流されるマコガレイ稚魚

昭和五十一年から、東播磨港湾環境整備事業の一つとして進められてきた、延長3.4kmにわたる、県立高砂海浜公園が四月三十日にオープン。20年ぶりによみがえった。

開園式には一般市民の他に高砂幼稚園児が参加し、体長3.4cmに育ったマコガレイの稚魚約一万匹を放流した。

白砂青松の地は、異国の趣の場として、魚の住む公園として新しくスタートした。

☆ 海浜公園は、松林ゾーン、養浜ゾーン、人工島ゾーンと三つのゾーンからなっている。

松林ゾーン
クロマツ、クスノキ、五〇木、シヤリバイなど、低木二二二〇本が

植樹され、これらの木々の間にレンガ色の歩道、黄緑色の芝生に赤い屋根のアズキヤニ棟が設けられている。また、休憩のためのベンチや手足洗場も設置されている。

養浜ゾーン
中国地方から約三〇、〇〇〇立方メートルのまっ白な砂が運びこまれ、これが、まわりをとり囲む緑の松林と青い海を

た白砂青松の地は、異国の趣の場として、魚の住む公園として新しくスタートした。

☆ 海浜公園は、松林ゾーン、養浜ゾーン、人工島ゾーンと三つのゾーンからなっている。

松林ゾーン
クロマツ、クスノキ、五〇木、シヤリバイなど、低木二二二〇本が

釣り船業法案

今国会提出見送りに

さる四月六日、水産庁は「釣り船業法案」の今国会への提出を見合わせざるを得ない、と発表し、四月十四日の全漁連昭和五十八年度第一回理事会でこれに關しての事情説明をおこなった。

その内容の骨子は「①

小型漁船へのはねかえり等の影響があるのでないか、その点でも関係各省庁間で、調整作業を慎重に行わねばならない。これらの問題解決にはかなりの時間を要し、残念ながら今国会への提出は見合わせざるを得ない」ということであった。

全国漁協貯蓄

一兆五千億円を突破

（末口）現在の残高がほぼまとまった。

それによると三月末の残高は、一兆五千八百四十七億七千八百四十九円四角に達し、一〇〇％の達成率、対前年度比伸び率七・八％（五十七年三月末日現在残高一兆三千九百九十八億円）の実績。

漁業経営環境がきわめて厳しいなかにおいて目標達成を遂げたことは、漁業者をはずみ系統各機関の並々ならぬ努力の成果であり高く評価される。

なお、目標達成率は北海道ほか二一県の計二二道県、未達成県は一六府県。

専務への道五ヶ年（十）

さきに述べた如く日支事変の長期化に伴い、先石油が規制、国家総動員法施行によりあらゆる物資に統制が強化、大東亜戦争の発端（昭和十六年十二月八日）以来漁業用資材は極度に窮乏を告げ、当局が制当てもおこなねばならなかった。

そこで組合は佐津駅前に相当規模の資材倉庫を建設し、汽車輸送される諸資材を一旦駅前のその倉庫に格納し、乏しいガソリンを効率的に使って適宜トラックで柴山地区に引き取れば万事ロスが少なくて済むであろうという

このがはかすも水田組合長に対し平素感情的にこころを思わぬ柴山地区の少数の組合員グループに組合長排斥の口実を与えられた。すなわち「組合長は駅前倉庫を口実に組合の中心を佐津地区に移してしまつたのだ」というのである。

漁協一代（その十三） 作花 英治

漁業の中心は柴山港で共同販売所、製氷工場その他漁業根拠地の重点はこれを他に移すにも堅固な代りに他に移すに得ないことは誰が考えもはつきりして、排斥の脅威は単なる口実で済ませられず、各派の責任は明らかにできず、成事業を採り入れた各同施設を矢張りやに実現

したやり手である。なお組合長就任早々の昭和九年には製氷所建設に手を付け翌年には完成させており大多数の組合員からは異議の眼を以て見られていたのである。しかし漁業の重点が柴山港に移り、沿岸より沖合へ……の圏の方針を守って但馬有数の漁村に発展を遂げると、もはやいつまでも非漁民の巨那衆に指導される必要はないではないかという漁業者の自覚と自信が生じつつあった。しかも事実であった。しかも今この排斥は永田組合長の個性に対する反感であった。その上更に火に油をそそぐようなこととなる事件が筆者自身のことと持ち上った。実は自



お詫びと訂正

四月号掲載の水産課職員配属図の中で漁政係主任、小田、吉田氏となっていたのは小西、吉田の誤りです。訂正してお詫びいたします。

番組のお知らせ

6月の

● 船員の広場 9595MHz

● 船内災害事例 6・2

● 外傷の手当 9・9

● 索具類による災害 16

● わが社における安全衛生教育 23

● 飲用水の適正管理 30

放送日毎週木曜日
放送時間 19:30
19:45 (日本時)

3925MHz
6055MHz

いすゞ マリンエンジン UM06BBIB

高速への挑戦!

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社

驚異的低燃費!!

世界で活躍する技術のヤンマー

新発売 内海底曳用15馬力

水産庁基準適合 低燃費機関

3L15

(15PS/1440rpm)

ヤンマーディーゼル